

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

ELライト機能/ストップウォッチ/アラーム

1430

取扱説明書

1430

G-SHOCK

このたびは弊社製品をお買い上げくださり誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。本機のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行っても、製品に障害を与えることは一切ありません。本機の特長、機能を十分に使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

ご使用上の注意

防水性 ●表面または裏蓋にWATER RESISTANTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	SBAR	IOBAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキューバダイビング(素潜り)	×	×	○	○

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表します。
※専門的な潜水=スキューバダイビング(アクアラング)での使用はお避けください。
●表面または裏蓋にWATER RESISTANTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発生する場合、もしくは湿度の高い場所での使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

- 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行わないでください。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- 防水性を保つために定期的(2~3年を目安に)なバッテリー交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)
- 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態、水仕事、水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
- バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

バンド

温度

ショック

磁気

薬品類

保管

お手入れについて

お手入れ ●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などのしめ、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損なわれることがあります。

お手入れを怠ると

- 「サビ」
ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
・表面はきれいでも、すまみに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
- 「劣化」
樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿度の高い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。
- 「かぶれ」
皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。
・万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。
・特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

蛍光商品のお取り扱いについて

蛍光商品のケース/バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。
・長時間、直射日光に当てると、色あせする場合があります。
・長時間、濡れたままにしておくと色が落ちるおそれがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
・長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておくと、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。
・プリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

電池交換について

最初の電池 ●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※なお電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

消耗

電池交換

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。
- 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となります場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行ないます。(防水検査は別途有料となります)

液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

ELパネル(表示照明部)の交換について

表示照明用として使用しているELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見えることがあります。このようなときにはお買い上げ店またはカシオサービスセンターに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

操作のしくみと表示の見方

◎ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わります。

時刻モード

★表示切り替え
④ボタンを押すごとに「曜日・日」表示と「月・日」表示が切り替わります。

★グラフ表示
現在時刻の秒に連動して点灯/不点灯します。

午後マーク(午前は不点灯)
③ボタン(モード切替)
⑤ボタン(表示切替)
①ボタン(ライト点灯)

(曜日の見方)
SU:日 MO:月
TU:火 WE:水
TH:木 FR:金
SA:土

アラームモード

分単位でアラームセット、および毎正時の時報セットができます。

モードマーク
アラーム時刻
12:00

タイマーモード

1秒単位で最大24時間までの減算計測ができます。

モードマーク
計測値
00'00" AUTO

ストップウォッチモード

1/100秒単位で、23時間59分59秒(24時間計)まで計測できます。

モードマーク
計測値
00'00'00

●デモ機能について
本機は、工場出荷時に「デモ(デモンストレーション)機能*」に設定されています。
*デモ機能とは、本機のアニメーション表示(ライト点灯時に表示)を自動的に見せるモードです。

●デモ機能の解除
④・⑤・③・①いずれかのボタンを押すと、デモ機能が解除されます。
●デモ機能にするには
③ボタンを2~3秒間押し続けます。
(ご注意)
デモ機能の表示のままにしておくと、電池寿命が短くなる場合がありますのでご注意ください。

ライト点灯について

どの表示のときでも、①ボタンを1回押すと、文字板が約3秒間発光し、アニメーション表示が動きます。

アニメーション表示



※発光中にもう一度①ボタンを押すと、その時点から引き続き約3秒間発光します。
※①ボタンを押している間は時刻表示のまま、文字板が発光しつづけます。ただし、①ボタンを押したまま1~2分すると自動的に発光を中断します。

*アニメーション表示について
文字板が発光している間、アニメーション表示が動きます。
※①ボタンを押すタイミングによって表示される内容が異なります。
※発光が終わると、通常表示に戻ります。

Hang Hang (=Spend time with)	Party! Party! (=Let's have a good time)	Do it! Do it! (=Do For it!)	'S up? 'S up? (=What's happening?)
Cool! Cool! (=good, great)	MEGA MEGA (=good, great)	RAVE! RAVE! (=An all-night dance party)	G

(注意事項)

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中にアラームなどの電子音が鳴ると、発光を中止します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは発光のためにELパネルが振動するときの音で、異常ではありません。

製品仕様

水晶発振周波数: 32,768 Hz
 常温携帯精度: 平均月差±15秒以内
 基本機能: 分・秒・月・日・曜日、午前/午後(P)/24時間制表示、フルオートカレンダー(1995~2039年)
 アラーム機能: 時刻アラーム セット単位=分 電子音=20秒間 時報 毎正時に2回報知
 タイマー機能: セット単位=秒 計測範囲=24時間 計測単位=1秒 電子音=10秒間 リピート計測/オートリピート計測
 ストップウォッチ機能: 計測単位=1/100秒 計測範囲=23時間59分59秒(24時間計) 計測機能=通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測
 セット機能: 時刻・カレンダーセット機能、秒合わせ機能(±30秒アジャスト)、アラームセット機能、タイマーセット機能

その他: 自動復帰機能、12/24時間制表示切替、デモ機能
 EL(エレクトロルミネッセンス)バックライト
 主要回路素子: 音叉型高性能水晶振動子 ワンチップCMOS-LSI
 使用電池: CR-2016(電池別途販売)
 ※電池はカシオ製電池またはカシオ指定電池をお使いください。
 電池寿命: 約2年
 (1日あたりアラーム20秒間、ELバックライト4秒間を1回使用したとき)
 ※ただしELバックライトの使用条件により、電池寿命が短くなる場合があります。
 ●1日あたりELバックライト4秒間を5回使用したとき: 約13ヶ月
 ●1日あたりELバックライト4秒間を10回使用したとき: 約8ヶ月

時刻・カレンダーの合わせ方 電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法で合わせてください。

■秒の合わせ方…30秒以内の遅れ・進みの修正

月に1度くらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時刻はいつも正確です。

(1) 時刻モードのとき、

③ボタンを押します

→「秒」が点滅します。



(2) 時報に合わせて、

①ボタンを押します

→「00秒」からスタートします。



「00秒」になる

秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス117番」が便利です。

(3) 秒セット後は、

③ボタンを押します

→点滅が止まります。



※秒セットのまま2～3分ボタン操作を行なわないと、自動的に点滅が止まります。

■時刻・カレンダーの合わせ方

(1) 時刻モードのとき、

③ボタンを押します

→「秒」が点滅します。

(2) セット箇所を選ぶ

③ボタンを押します

③ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下の順で移動します。



(3) 点滅箇所のセット

①ボタンを押します

①ボタンを押すごとに数字が1つずつ進みます。※押し続けると早く進みます。

上記(2)～(3)の操作をくりかえして、時刻・カレンダーを合わせます。
 ※「時」セットのとき、午前/午後(P)、24時間制にご注意ください。
 ※「年」は、1995～2039年の範囲内でセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年、および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(4) セットが終わりましたら、

③ボタンを押します →点滅が止まります。

※時刻・カレンダーセットのまま、2～3分ボタン操作を行なわないと、自動的に点滅が止まります。



タイマーの使い方 操作のしぐみにしたがって③ボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは秒単位で24時間までセットでき、秒単位で減算計測を行ないます。セットした時間を経過すると、10秒間の電子音でタイムアップを知らせます。

■減算計測のしかた (タイマーの使い方)

タイマーモードのとき、

①ボタンを押します

①ボタンを押すと、1秒単位で減算計測を開始します。



●計測を一時的に中断するには、①ボタンを押します。もう一度①ボタンを押すと、その時点から計測を再開します。

●計測を中断し、計測前の表示に戻すには、③ボタンを押します。(計測リセット)

★残り時間が0になると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。ただし、タイマー時間が10秒以下のとき、電子音が鳴るのは1秒間となります。

■リピート計測/オートリピート計測

本機のタイマーは2種類あり、使い方に合わせてお好きな方法を選ぶことができます。(「タイマー時間をセットする」参照)

●**リピートタイマー (繰り返し計測)**
 タイムアップになると計測が止まり、タイマー時間を表示します。同じ時間を何回も計測するときに便利です。

●**オートリピートタイマー (自動繰り返し計測) "AUTO" 点灯**
 タイムアップになるとタイマー時間に戻り、計測ストップするまで繰り返し減算計測を行ないます。

■**鳴っている電子音を止めるには**
 タイムアップの電子音が鳴っているときに、①・③・④・⑤いずれかのボタンを押します。

■タイマー時間をセットする

(1) タイマーモードのとき、

③ボタンを押します

→タイマー時間の「時」が点滅します。

(2) セット箇所を選ぶ

③ボタンを押します

③ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が以下の順に移動します。



(3) 点滅箇所のセット

①ボタンを押します

★「時」「分」「秒」セットのとき①ボタンを押すごとに数字が1つずつ進みます。※押し続けると早く進みます。

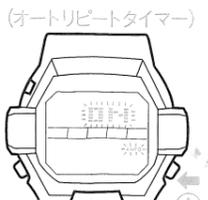
★タイマー方法セットのとき①ボタンを押すごとに「ON/OFF」表示が切り替わります。(右図)

※オートリピートタイマーにするときは「ON」、リピートタイマーにするときは「OFF」を選びます。

(4) セットが終わりましたら、

③ボタンを押します →点滅が止まります。

※タイマー時間セットのまま2～3分ボタン操作を行なわないと自動的に点滅が止まります。



アラームの使い方 操作のしぐみにしたがって③ボタンを押し、アラームモードにします。

アラームは分単位でセットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

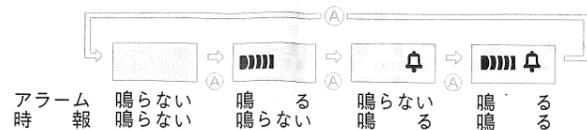
■アラーム・時報を鳴らすには

(1) アラームモードのとき、

①ボタンを押します



①ボタンを押すごとに以下の順でアラームおよび時報のON/OFFが切り替わります。
 ※アラーム時刻セット操作をすると、自動的にアラームON (AL) 点灯となります。



■鳴っている電子音を止めるには

アラーム音が鳴っているときに、①・③・④・⑤いずれかのボタンを押します。

■アラーム時刻をセットする

(1) アラームモードのとき、

③ボタンを押します

→アラーム時刻の「時」が点滅します。※このとき「AL」マークが点灯します。

(2) セット箇所を選ぶ

③ボタンを押します

③ボタンを押すごとにセット箇所(点滅表示)が「時」と「分」を移動します。

(3) 点滅箇所のセット

①ボタンを押します

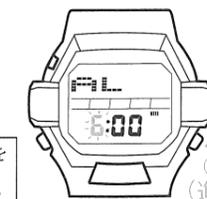
①ボタンを押すごとに数字が1つずつ進みます。※押し続けると早く進みます。

上記(2)～(3)の操作をくりかえして、アラーム時刻を合わせます。
 ※「時」セットのとき、午前/午後(P)にご注意ください。
 ※時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

(4) セットが終わりましたら、

③ボタンを押します →点滅が止まります。

※アラーム時刻セットのまま、2～3分ボタン操作を行なわないと、自動的に点滅が止まります。



ストップウォッチの使い方

操作のしぐみにしたがって③ボタンを押し、ストップウォッチモードにします。

ストップウォッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測できます。計測範囲を超えると、0に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

①ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。

計測中に③ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。

※①・③ボタンともそれぞれ押すと、操作確認音が鳴ります。※計測値を0に戻すには、ストップ後、③ボタンを押します。



●通常計測

① → ③ → ①
 スタート → ストップ → リセット

※積算計測…ロスタイムがあるときは、ストップ後リセットせずに①ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム (途中経過時間) の計測

① → ③ → ③ → ① → ③
 スタート → スプリット → スプリット解除 → ストップ → リセット

●1・2着同時計測

① → ③ → ③ → ① → ③ → ③
 スタート → 1着ゴール → 2着ゴール → 2着タイム表示 → リセット (1着タイム表示)